秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農林業構造統計

マスコットキャラクター「つっちー」

2020年農林業センサス

農林業経営体調査票

（2020年2月1日現在）

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号
基本指標番号						
修正がある場合→						

○ 記入する前に、必ず「記入の仕方」をご覧ください。
○ この調査票は、**統計の作成目的以外には使用せず**、得られた個々の結果についても、**外に漏らしたり課税などの資料に利用することはなく、秘密を厳守することが法律により定められています**ので、ありのままをご記入ください。
○ **黒色の鉛筆**または**シャープペンシル**で記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

★ 数字は、1マスに1つずつ、枠からはみ出さないように**右づめ**で記入してください。

記入例 9 8 7 6 5 4 0

つなげる　すきまをあける

★ マークを記入する欄は、下の記入例のように濃くぬりつぶしてください。

記入例 ○ → ●

★ マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。

記入例 1 1 2 3

悪い例 ○ → ✓ ・

○ **調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。**

SAMPLE

記入していただく調査項目について

○ この調査票は
□ 農業経営（□ の枠内の □ 色の項目と、□ 色の項目）
□ 林業経営（□ の枠内の □ 色の項目と、□ の枠内の □ 色の項目）
について記入してください

なお、林業経営を行っている方が □ 枠について記入していただく場合には、設問の「農業（農産物、農作業）」を「林業（林産物、林業作業）」に読み替えて記入します。

【1】経営体の概要（すべての方が記入する項目です。）

1　経営形態

経営は会社などの法人化をしていますか。
該当するもの1つに必ず記入してください。

			101
法人でない			○
法人である	農事組合法人		○
	会社	株式会社	○
		合名・合資会社	○
		合同会社	○
		相互会社	○
	各種団体	農協	○
		森林組合	○
		その他の各種団体	○
	その他の法人		○
地方公共団体・財産区			○

□ 個人経営の方は、2ページの1 個人経営内部の労働力へ
□ 団体経営の方は、4ページの2 団体経営内部の労働力へ

法人の方のみ記入してください。

法人番号（13桁）を記入してください。

102

法人番号を活用した統計の精度向上及び効率化の取組に使用させていただきます。

個人のマイナンバー（12桁）を誤って記入しないようにご注意ください。

→ 4ページの2 団体経営内部の労働力へ

特例有限会社は株式会社に該当します。

2、3ページは、個人経営の方のみ記入してください。

法人化されている方は、4ページに記入してください。

1　個人経営内部の労働力

林業経営について記入していただく場合、設問の「農業」を「林業」に読み替えて記入します。

（1）世帯員の人数を記入してください。

		男（人）		女（人）	
世帯員の数	202	88		203	88
そのうち、満14歳以下の世帯員の数（平成17年2月1日以降に生まれた方）	205	88		206	88

続柄番号

01:世帯主
02:世帯主の配偶者
03:子
04:子の配偶者
05:世帯主の父母
06:世帯主の配偶者の父母
07:兄弟姉妹
08:祖父母
09:孫
10:孫の配偶者
11:その他

（2）満15歳以上の世帯員（平成17年1月31日以前に生まれた方）について記入してください。

過去1年間でいずれかの決定に参画した方に記入してください。
○生産品目や飼養する畜種の選定・規模の決定
○出荷先の決定
○資金調達
○機械・施設などへの投資
○農地借入・農作業受託の決定
○雇用の決定・管理

	① 世帯主との続柄	② 性別		③ 出生の年月					④ 経営主とともに農業経営の方針決定に関わっている	⑤ 過去1年間のふだんの状況					⑥ 過去1年間で自営農業に従事した日数（管理労働を含む）※「自営農業」には、世帯として請け負った（受託した）農作業を含みます。							
		いずれかに		該当する元号と出生の年月を記入してください。						仕事を主にしていた					従事しなかった	1～29日	30～59日	60～99日	100～149日	150～199日	200～249日	250日以上
	続柄番号を記入	男	女	大正	昭和	平成	年	月	該当する方すべてに	主に自営農業を行った	主に他に勤務した	主に農業以外の自営業を行った	主に学生（研修を含む）であった	主に家事・育児・その他であった								
										必ず1つに					必ず1つに							
経営主	88	0	0	0	0	0	88	88		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
世帯員1	88	0	0	0	0	0	88	88	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
世帯員2	88	0	0	0	0	0	88	88	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
世帯員3	88	0	0	0	0	0	88	88	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
世帯員4	88	0	0	0	0	0	88	88	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
世帯員5	88	0	0	0	0	0	88	88	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
世帯員6	88	0	0	0	0	0	88	88	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
世帯員7	88	0	0	0	0	0	88	88	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

SAMPLE

⑥及び⑦欄について、
従事した日数には、経理事務などの管理労働も含みます。
従事した日数には、手伝いなどで従事した場合も含みます。
従事した日数は、**1日を8時間 として計算してください。**
（例）　1日4時間ずつ　→ 2日で1日分
　　毎日1時間ずつ → 8日で1日分

⑦欄について、
　農業生産関連事業とは、自ら経営していて、①自家で生産した農産物を使用、②所有または借り入れている耕地もしくは農業施設を利用している、のいずれかに該当する事業を行う場合をいいます。
　例えば、農産物の加工、小売業、観光農園、貸農園・体験農園、農家民宿、農家レストラン及び海外への輸出などが該当します。

⑦								⑧	
過去1年間で農業生産関連事業に従事した日数（管理労働を含む）								過去1年間に	
従事しなかった	1～29日	30～59日	60～99日	100～149日	150～199日	200～249日	250日以上	新たに親の農業経営を継承	親の農業経営とは別部門を新たに開始
必ず1つに								該当する方	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

SAMPLE

（3）世帯としての所得
　世帯としての所得は、自営農業と自営農業以外の仕事でどちらが多いですか。
　該当するものに**必ず**記入してください。

自営農業による所得が多い	208	0
自営農業以外の所得が多い（不動産による所得は含み、年金は含まない）		0

（4）地域の集落営農組織の構成農家
　地域の集落営農組織に参加していますか。
　該当するものに**必ず**記入してください。

参加していない	209	0
参加している	210	0
そのうち、オペレータとして従事	211	0

→ 次ページの
3　後継者へ

⑤及び⑧欄について、
　過去1年間のふだんの状況（⑤）欄の「主に自営農業を行った」に記入された方のみ、⑧欄の過去1年間に「新たに親の農業経営を継承」または「親の農業経営とは別部門を新たに開始」に該当すれば記入してください。
　なお、「新たに親の農業経営を継承」とは、**過去1年間に**親の農業経営を継承して経営の責任者になった方をいいます。
　「親の農業経営とは別部門を新たに開始」とは、**過去1年間に**新たに親とは別部門での農業経営を開始し、その部門の経営の責任者となった方をいいます。

団体経営の方（経営を法人化している農家・林家を含む）のみ記入してください。

2　団体経営内部の労働力

林業経営について記入していただく場合、設問の「農業」を「林業」に読み替えて記入します。

（1）経営主と、役員（代理を委任された者を含む）・構成員のうち過去1年間に**農業**と農業生産関連事業への従事日数があわせて60日以上の方について、記入してください。

（1）、（2）に記入するのは、経営主のほか、役員・構成員のうち、過去1年間に**農業**（管理労働を含む。）または農業生産関連事業に従事した者のみです。役員会に出席するだけの者は、記入する必要はありません。
また、常雇い、臨時雇いの労働力は含みません。

従事した日数は、**1日を8時間 として計算してください。**
（例）　1日4時間ずつ　→ 2日で1日分
　　毎日1時間ずつ → 8日で1日分

	① 性別 いずれかに		② 出生の年月 該当する元号と出生の年月を記入してください。					③ 過去1年間で**農業**に従事した日数（管理労働を含む）						④ 過去1年間で農業生産関連事業に従事した日数（管理労働を含む）						⑤ 過去1年間の主な状況	
	男	女	元号 大正	元号 昭和	元号 平成	出生の年月 年	出生の年月 月	60日未満	60～99日	100～149日	150～199日	200～249日	250日以上	60日未満	60～99日	100～149日	150～199日	200～249日	250日以上	主に農業に従事	主に農業以外の事業に従事
								必ず1つに						必ず1つに						必ず1つに	
経営主	0	0	0	0	0	8 8	8 8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	8 8	8 8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	8 8	8 8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	8 8	8 8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0	8 8	8 8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	8 8	8 8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	8 8	8 8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	8 8	8 8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

SAMPLE

（2）（1）に記入した方以外で、過去1年間に**農業**と農業生産関連事業への従事日数があわせて60日未満の方について、実人数を記入してください。

	男（人）		女（人）
222	8 8 8	223	8 8 8

農業生産関連事業とは、自ら経営していて、①自家で生産した農産物を使用、②所有または借り入れている耕地もしくは農業施設を利用している、のいずれかに該当する事業を行う場合をいいます。
例えば、農産物の加工、小売業、観光農園、貸農園・体験農園、農家民宿、農家レストラン及び海外への輸出などが該当します。

林業経営について記入していただく場合、設問の「農業」を「林業」に読み替えて記入します。

3　後継者

5年以内に**農業**経営を引き継ぐ後継者（予定者を含む。）を確保していますか。
該当するもの1つに**必ず**記入してください。

確保している	親　族	231	0
	親族以外の経営内部の人材		0
	経営外部の人材		0
経営を開始または継承直後のため、5年以内に**農業**を引き継がない			0
確保していない			0

林業経営について記入していただく場合、設問の「農業」を「林業」に読み替えて記入します。

常雇い、臨時雇いには、1(2)の個人経営の世帯員及び2(1)・(2)の団体経営の経営主・役員などは含めないでください。
常雇いについては、常雇いしている方全員を記入していただくため、5人以上の常雇いがいた場合は、補助票に記入してください。
従事日数には、管理労働を含みます。
常雇いの従事日数の合計には、補助票に記入していただいた分を含め、常雇いしている方全員の従事日数の合計を記入してください。

4　常雇い

過去1年間に農業経営または農業生産関連事業のために常雇いした人（あらかじめ7か月以上の契約で雇った人）について、記入してください。また、男女別に従事した日数の合計を記入してください。

	① 性別 いずれかに 男	女	② 出生の年月 該当する元号と出生の年月を記入してください。 元号 大正	昭和	平成	出生の年月 年	月
1	0	0	0	0	0		
2	0	0	0	0	0		
3	0	0	0	0	0		
4	0	0	0	0	0		

5　臨時雇い

過去1年間に日雇・季節雇などで、農業経営または農業生産関連事業のために臨時雇いした人（手伝いなどを含みます。）について、実人数と男女別に従事した日数の合計を記入してください。

		農業 実人数（人）	農業生産関連事業 実人数（人）
男	252		258
女	253		259

		農業 従事日数の合計（人日）	農業生産関連事業 従事日数の合計（人日）
男	255		261
女	256		262

過去1年間に農業経営または農業生産関連事業のために1か月以上の契約で雇った人について、実人数を記入してください。

		農業 従事日数の合計（人日）	農業生産関連事業 従事日数の合計（人日）
男	242		245
女	243		246

		農業 実人数（人）	農業生産関連事業 実人数（人）
男	264		267
女	265		268

SAMPLE

【３】土地

土地の状況を記入してください。（土地登記簿上の地目や面積ではなく、現状の地目や面積を記入してください。
また、居住地以外の他の市区町村にある土地を含みます。）

田・畑・樹園地

		田 (ha)(町) (a)(反)(畝)			畑 (ha)(町) (a)(反)(畝)			樹園地 (ha)(町) (a)(反)(畝)		
経営している	301				311			321		
そのうち、所有している	302				312			322		
そのうち、借りている	303				313			323		
貸している	304				314			324		

実質的に経営を任せている場合は「貸している」に記入してください。
原野化し、現状が耕地でないものは除きます。

経営している畑のうち、牧草専用地	326	

耕地以外（山林・原野など）

山林・原野などの耕地以外の土地で過去1年間に採草地や放牧地として利用した土地面積を記入してください。

		(ha)(町) (a)(反)(畝)
耕地以外で利用した土地面積	341	

ハウス・ガラス室等

過去1年間に施設園芸に利用したハウス・ガラス室及び加温温室の実面積を記入してください。

ハウス・ガラス室とは、その中で普通の姿勢で作業できるものをいいます。
水稲の育苗だけ、きのこの栽培だけに利用したものは除きます。

		実面積 (a)(畝) (㎡)
ハウス・ガラス室	351	
そのうち、加温温室	352	

【４】農業生産

始めから販売を目的とせず、自給用に作付け（栽培）した面積は含めないでください。

1　過去1年間に販売を目的として作付け（栽培）した**延べ面積**を記入してください。

未成熟の豆類（「えだまめ」、「さやいんげん」、「さやえんどう」、「グリンピース」など）はここに含めず、「その他の野菜」に記入してください。
「その他の工芸農作物」には、たばこ、いぐさ、ホップ、ごま、ラベンダー、薬用作物などの合計を記入してください。

			(ha)(町)	(反)	(a)(畝)
稲・麦・雑穀	水　稲（食用）	403			
	陸　稲（食用）	404			
	稲（飼料用）	405			
	小　麦	407			
	そのうち、田で作付	408			
	二条大麦	409			
	六条大麦	410			
	裸　麦	411			
	そ　ば	413			
	その他の雑穀（あわ、きび、ひえ等）	414			

			(ha)(町)	(反)	(a)(畝)
いも類	原料用ばれいしょ（でんぷん用）	416			
	食用ばれいしょ（加工用を含む）	417			
	原料用かんしょ（でんぷん用）	418			
	食用かんしょ（加工用を含む）	419			
豆類	大　豆	421			
	そのうち、田で作付	422			
	小　豆	423			
	その他の豆類	424			
工芸農作物	さとうきび	426			
	なたね	427			
	茶	428			
	てんさい（ビート）	429			
	こんにゃくいも	430			
	その他の工芸農作物	431			

稲・麦・雑穀、いも類、豆類、工芸農作物の面積がある方のみ記入してください。

2　水稲（食用）、小麦、大豆以外の上記品目（稲・麦・雑穀、いも類、豆類、工芸農作物）について、販売を目的として田で作付けした面積を記入してください。

	(ha)(町)	(反)	(a)(畝)
432			

田で作付けた面積のみを記入し、畑で作付けた面積は記入しないでください。

3　過去1年間に販売を目的として作付け（栽培）した野菜・果樹類の品目コード及び**延べ面積**を露地作、施設作ごとに記入してください。

野菜・果樹

品目コード

根菜類	101：だいこん 102：にんじん 103：さといも 104：やまのいも（ながいもなど）
葉茎菜類	111：はくさい 112：キャベツ 113：ほうれんそう 114：レタス 115：ねぎ 116：たまねぎ 117：ブロッコリー
果菜類	121：きゅうり 122：なす 123：トマト 124：ピーマン
野菜 果実的	131：いちご 132：メロン 133：すいか
	191：その他の野菜

果樹類	201：温州みかん 202：その他のかんきつ 203：りんご 204：ぶどう 205：日本なし 206：西洋なし 207：もも 208：おうとう 209：びわ 210：かき 211：くり 212：うめ 213：すもも 214：キウイフルーツ 215：パインアップル 216：その他の果樹

「その他の野菜」には、「もやし」、「えだまめ」、「スイートコーン」、「ごぼう」、「にら」、「かぼちゃ」、「アスパラガス」など該当しなかった野菜の合計を記入してください。
果樹類の面積には、未成園を含みます。

品目コード		露地作延べ面積 (ha)(町)	(反)	(a)(畝)	施設作延べ面積 (a)(畝)	(m²)
	①					
	②					
	③					
	④					
	⑤					
	⑥					
	⑦					
	⑧					
	⑨					
	⑩					
	⑪					
	⑫					

SAMPLE

4　過去1年間に販売を目的として作付け（栽培）した花き・花木及びその他作物の延べ面積を露地作、施設作ごとに記入してください。

花き・花木

花き苗、花木苗を含みます。

		露地作延べ面積 (ha)(町) (a)(反)(畝)		施設作延べ面積 (a)(畝) (㎡)
花　き	463		464	
花　木	465		466	

花きの露地、施設面積がある方のみ記入してください。

切り花類	467	0
球根類	468	0
鉢もの類	469	0
花壇用苗もの類	470	0

その他の作物

		露地作延べ面積 (ha)(町) (a)(反)(畝)		施設作延べ面積 (a)(畝) (㎡)
その他の作物	472		473	

販売を目的として栽培した水稲苗、野菜苗、果樹苗、造林用の苗木、芝、稲以外の飼料用作物、青刈り作物など、どの欄にも該当しなかった作物の合計を記入してください。

家　畜

共同放牧をしたり、外部に預託している家畜を含めます。
会社などから飼養を委託されて飼養管理しているもの（家畜・飼料などは委託側から提供され、飼養管理労働のみに従事した場合）は除きます。

5　現在、飼っている牛の頭数を目的別に記入してください。

				(万)(千)(百)(十)(頭)
総　数			475	
搾乳目的	2歳（24か月齢）以上		477	
搾乳目的	2歳（24か月齢）未満		478	
販売目的	和牛などの肉用種	子取り用めす牛	480	
販売目的	和牛などの肉用種	肥育中の牛（肉用として販売）	481	
販売目的	和牛などの肉用種	売る予定の子牛など（種おすを含む）	482	
販売目的	和牛と乳用種の交雑種	肥育中の牛（肉用として販売）	484	
販売目的	和牛と乳用種の交雑種	売る予定の子牛（肥育用もと牛として販売）	485	
販売目的	肉用として飼っている乳用種	肥育中の牛（肉用として販売）	487	
販売目的	肉用として飼っている乳用種	売る予定の子牛（肥育用もと牛として販売）	488	

搾乳する予定のない子牛は、「売る予定の子牛（など）（482、485、488）」に種類ごとに記入してください。

6　現在、販売する予定で飼っている豚の頭数を記入してください。

		(万)(千)(百)(十)(頭)
子取り用めす豚	490	
肥育中の豚	491	

7　現在、卵の販売を目的として飼っている採卵鶏の羽数を記入してください（ひなどりを含みます。）。

		(万)(千)(百)(十)(羽)
採卵鶏	492	

8　過去1年間に出荷したブロイラーの羽数を記入してください。

		(万)(千)(百)(十)(羽)
ブロイラー	493	

その他

9【4】の1から8以外で、販売を目的として、きのこの栽培やその他の農業経営を行っていますか。該当するものに**必ず**記入してください。

行っていない	495	0
行っている：きのこの栽培	496	0
行っている：その他の農業経営	497	0

その他の農業経営には、馬、羊、やぎなどの飼養、養蜂、養蚕などを含みます。

SAMPLE

【５】過去1年間の農産物の販売

林業経営について記入していただく場合、設問の「農産物」を「林産物」に読み替えて記入します。

1　過去1年間の農産物の販売金額（売上高）について、該当するもの1つに必ず記入してください。

販売金額には、売上金額を記入してください（肥料代、農薬代などの経費を引かない。）。

		501
	販売なし	0
農産物の販売あり	50万円未満	0
	50～100万円未満	0
	100～300万円未満	0
	300～500万円未満	0
	500～1,000万円未満	0
	1,000～3,000万円未満	0
	3,000～5,000万円未満	0
	5,000万～1億円未満	0
	1億円以上	0

「1億円以上」の場合は、1千万円単位で金額を記入してください。

	億	千万円
502	8888	8

【農産物の販売金額には次のものを含めます】
- ○ 畜産物、栽培きのこ、養蜂、まゆ、耕地で栽培した林業用の苗木などを含めます。
- ○ 自ら営む農家レストランや農産物加工品の製造に仕向けた農産物の見積金額
- ○ 観光農園を営んでいる場合の入園料（入場料）（入園料金で農産物を一定量収穫させる場合）
- ○ 貯蔵しておいた農産物を過去1年の間に販売した金額
- ○ 売買契約済みであるが、代金を受け取っていない分の見積金額

林産物の販売金額には栽培きのこ、林業用苗木の販売額は含みません。

農産物の販売がある方のみ記入してください。

2　過去1年間の販売金額が上位3位までの該当順位に部門コードを記入し、合計に占める割合をそれぞれ記入してください。

部門コード

01：水稲・陸稲
02：麦類
03：雑穀・いも類・豆類
04：工芸農作物
05：露地野菜
06：施設野菜
07：果樹類
08：花き・花木
09：その他の作物
10：酪農
11：肉用牛
12：養豚
13：養鶏
14：養蚕
15：その他の畜産

		部門コード	割
1位	503	88	88
2位	505	88	88
3位	507	88	88

経営部門が4部門以上である場合は、割合の合計が10に満たないこともあります。きのこの栽培は「その他の作物」に、地鶏や養蜂は「その他の畜産」に含めます。

3　過去1年間に農産物を販売したすべての出荷先を記入し、そのうち、売上1位の出荷先を記入してください。

			出荷先		519
該当するすべてに	農協へ		509	0	0
	農協以外の集出荷団体へ		510	0	0
	卸売市場へ		511	0	0
	小売業者へ		512	0	0
	食品製造業・外食産業へ		513	0	0
	消費者に直接販売	自営の農産物直売所で	514	0	0
		その他の農産物直売所で	515	0	
		インターネットで	516	0	
		他の方法で（無人販売など）	517	0	
	その他へ		518	0	0

（うち売上1位の出荷先（1つに））

「消費者に直接販売」には自ら生産した農産物またはそれを使用した加工品を消費者に販売しているものが該当します。
「その他の農産物直売所」には、共同で運営している直売所または他の人が運営している直売所が該当します。

「過去1年間の林産物の販売」関連

林産物の販売がある方のみ記入してください。

4　過去1年間に林産物の販売金額の合計に占める割合をそれぞれ記入してください。

合計に占める割合			割
用材	立木で販売	931	88 88
	素材で販売	932	88 88
ほだ木用原木を販売		933	88 88
特用林産物を販売		934	88 88

SAMPLE

【６】過去1年間の農作業の受託（請負）

林業経営について記入していただく場合、設問の「農作業」を「林業作業」に読み替えて記入します。

1　過去1年間の農作業の受託（請負）による料金収入について、該当するもの1つに**必ず**記入してください。

		601
受託料金収入なし		0
農作業の受託料金収入あり	50万円未満	0
	50～100万円未満	0
	100～300万円未満	0
	300～500万円未満	0
	500～1,000万円未満	0
	1,000～3,000万円未満	0
	3,000～5,000万円未満	0
	5,000万～1億円未満	0
	1億円以上	0

「1億円以上」の場合は、1千万円単位で金額を記入してください。

	億	千万円
602	8 8 8 8	8

受託料金収入には、農作業とともに、実質的に「経営自体」を引き受けている場合は含めないでください。
その場合は、5ページ【3】土地の借りている土地の面積に記入してください。

農作業の受託料金収入がある方のみ記入してください。

2　水稲作作業で、過去1年間によそから受託した（請け負った）作業の**実面積**を記入してください。

			実面積 (ha)(町)	(反)	(a)(畝)
作業ごとに受託	育苗	603	8 8 8	8	8
	耕起・代かき	604	8 8 8	8	8
	田植	605	8 8 8	8	8
	防除	606	8 8 8	8	8
	稲刈り・脱穀	607	8 8 8	8	8
	乾燥・調製	608	8 8 8	8	8
すべての水稲作作業を一括して受託		609	8 8 8	8	8

3　さとうきび作作業で、過去1年間によそから受託した（請け負った）作業の**実面積**を記入してください。

			実面積 (ha)(町)	(反)	(a)(畝)
作業ごとに受託	耕起・整地	610	8 8 8	8	8
	植付け	611	8 8 8	8	8
	中耕・培土	612	8 8 8	8	8
	防除	613	8 8 8	8	8
	収穫	614	8 8 8	8	8
すべてのさとうきび作作業を一括して受託		615	8 8 8	8	8

4　水稲、さとうきび以外で、過去1年間によそから受託した（請け負った）農作業すべてに記入してください。

該当するすべてに	麦作	616	0
	大豆作	617	0
	野菜作	618	0
	果樹作	619	0
	飼料用作物作	620	0
	工芸農作物作（さとうきび作を除く。）	621	0
	その他の作物作	622	0
	畜産	623	0
	酪農ヘルパー	624	0

「過去1年間の林業作業の受託（請負）」関連

林業作業の受託料金収入がある方のみ記入してください。

5　過去1年間に林業作業の受託料金収入の合計に占める割合をそれぞれ記入してください。

合計に占める割合		割
造林・保育の受託	941	8 8
素材生産の受託	942	8 8
素材生産（立木買い）	943	8 8

6　過去1年間によそから受託した（請け負った）林業作業の**実面積**を記入してください。

			実面積 (ha)(町)	(反)	a(畝)
植林		951	8 8 8	8 8	8
下刈りなど		952	8 8 8	8 8	8
間伐	切捨間伐	954	8 8 8	8 8	8
	利用間伐	955	8 8 8	8 8	8
主伐	受託	957	8 8 8	8 8	8
	立木買い	958	8 8 8	8 8	8

他に再委託している面積は含みません。

SAMPLE

【７】農業経営の特徴的な取組

1　農業経営について青色申告を行っていますか。
該当するもの1つに**必ず**記入してください。

行っていない		701	0
行っている	正規の簿記		0
	簡易簿記		0
	現金主義		0

2　青色申告を行っていると答えた方について、青色申告を何年間継続して行っていますか。該当するもの1つに**必ず**記入してください。

	1年	2年	3年	4年	5年以上
702	0	0	0	0	0

「正規の簿記」とは損益計算書と貸借対照表が導き出せる組織的な簿記の方式　（一般的には複式簿記をいいます（青色申告特別控除額：最高65万円））。
「簡易簿記」とは「正規の簿記」以外の簡易な帳簿による記帳（青色申告特別控除額：最高10万円）をいいます。
「現金主義」とは現金主義による所得計算の特例を受けているものをいいます（青色申告特別控除額：最高10万円）。
経営を法人化し青色申告を行っている場合は「正規の簿記」に記入してください。

3　有機農業に取り組んでいますか。取り組んでいる場合は、取り組んでいる面積を品目別に記入してください。

取り組んでいない	0
取り組んでいる	0

		(ha)(町)	(反)	(畝)
水稲	704	8	8	8
大豆	705	8	8	8
野菜	706	8	8	8
果樹	707	8	8	8
その他	708	8	8	8

有機農業とは、化学肥料及び農薬を使用せず、遺伝子組換え技術も利用しない農業のことで、減化学肥料・減農薬栽培は含みません。
なお、自然農法に取り組んでいる場合や有機JASの認証を受けていない方でも、化学肥料及び農薬を使用せず、遺伝子組換え技術も利用しないで農業に取り組んでいる場合、有機農業に該当します。
なお、販売を目的とせず自給用のみに作付けた（栽培した）場合は、含めません。

SAMPLE

4　効率的かつ効果的な農業経営を行うためにデータ（財務、市況、生産履歴、生育状況、気象状況、栽培管理などの情報）を活用していますか。
その際、どのようにデータを活用していますか。該当するもの1つに**必ず**記入してください。

データを取得して活用	709	0
データを取得・記録して活用		0
データを取得・分析して活用		0
データを活用した農業を行っていない		0

「データを取得して活用」とは、**スマートフォン、パソコンなどを用いて気象、市況などのデータを取得**し、農業の経営に活用することをいいます。
「データを取得・記録して活用」とは、**スマートフォン、パソコンなどを用いて生産履歴などのデータを取得・記録（記録のみの場合を含む。）**し、農業の経営に活用することをいいます。
「データを取得・分析して活用」とは、「データを取得して活用」や「データを取得・記録して活用」で把握したデータに加え、**センサー、ドローンなどを用いてほ場環境や生育状況などのデータを取得し、専用のアプリなどで分析**して農業の経営に活用することをいいます。

【８】農業生産関連事業

過去1年間の農業生産に関連した売上金額の合計について、該当するもの1つに**必ず**記入し、売上金額がある方は、合計に占める割合をそれぞれ記入してください。

	801
売上なし	0
100万円未満	0
100～500万円未満	0
500～1,000万円未満	0
1,000～5,000万円未満	0
5,000万～1億円未満	0
1～10億円未満	0
10億円以上	0

合計に占める割合		割
農産物の加工	802	8 8
小売業	803	8 8
観光農園	804	8 8
貸農園・体験農園など	805	8 8
農家民宿	806	8 8
農家レストラン	807	8 8
海外への輸出	808	8 8
再生可能エネルギー発電	809	8 8
その他	810	8 8

林業経営を行っている方のみ記入してください。

【９】山林及び林業作業

1　山林について、面積を記入してください。

		(ha)(町)(反)(a)(畝)
所有している山林	902	
そのうち、貸している山林	903	
借りている山林	904	
保有山林(902-903+904)	901	

「貸している山林」には、自分の土地を他人に分収させている山林のほか、他人が地上権の設定をした山林を含めます。
「借りている山林」には、他人の土地に分収している山林のほか、他人の土地に地上権を設定した山林を含めます。

2　保有山林のうち、期間を定めて一連の作業(管理を含む。)を一括して**他に任せている**山林面積を記入してください。

任せている山林面積	(ha)(町)(反)(a)(畝)
905	

林業経営を委託している面積のことで、地上権を設定している山林や作業ごとに委託(請け負わせ)している山林面積は含みません。

3　保有山林以外で、期間を定めて一連の作業(管理を含む。)を一括して**他から任されている**山林面積を記入してください。

任されている山林面積	(ha)(町)(反)(a)(畝)
906	

林業経営を受託している面積のことで、地上権の設定をした山林や作業ごとに受託(請負)している山林面積は含みません。

4　保有山林における**過去5年間の林業作業**について、該当するものすべてに記入してください(委託した(請け負わせた)作業を含みます。)。

該当するすべてに			
植林		907	○
下刈りなど		908	○
間伐	切捨間伐	909	○
	利用間伐	910	○
主伐		911	○

「下刈りなど」には、枝打ち、つる切り、除伐、倒木起こしなどを含みます。

5　保有山林における**過去1年間の実作業面積**について記入してください(委託した(請け負わせた)作業を含みます。)。

			(ha)(町)(反)(a)(畝)
植林		912	
下刈りなど		913	
間伐	切捨間伐	914	
	利用間伐	915	
主伐		916	

実作業面積のため、1haの山林に対して、下刈りを2度行った場合でも1haと記入してください。

【10】素材生産

素材生産には間伐のうち素材として利用したものも含みます。

1　保有山林において、自ら伐採した過去1年間の素材生産量を記入してください。

		(㎥)
素材生産量	922	

2　受託(請負)もしくは立木買いによる過去1年間の素材生産量を記入してください。

		(㎥)
素材生産量	923	
そのうち、立木買いによる	924	

【11】林業従事

過去1年間に常雇いまたは臨時雇いした人のうち、150日以上林業労働に従事した人について、実人数を記入してください。

		実人数(人)
150日以上従事した人	925	

5ページの4常雇いと5臨時雇いに記入のある方は上記に該当する方がいるか確認してください。

SAMPLE

【 12 】都道府県設定項目

該当する項目に記入してください。

1　過去1年間に出荷した「花壇用苗もの類」の出荷数量を記入してください。

花壇用苗もの類の出荷数量	991	鉢

2　ストック（花き）について、過去1年間に販売を目的として作付けした延べ面積（けい畔面積は含めません）を記入してください。

		(ha)(町)	(a)(反)	(a)(畝)
ストックの作付延べ面積	992			

注：1aに満たない場合は、「1」としてください。

3　今後5年以内に、他の農家や営農組織に貸し付けてもよいと考えている農地の面積を記入してください。

		(ha)(町)	(a)(反)	(a)(畝)
今後5年の農地貸し付け希望面積	993			

注：営農組織とは、集落営農組織、農業生産法人、農地中間管理機構等を言います。
　該当がない場合は空欄としてください。

4　今後5年以内に、農地を買い入れ又は借り受けて、規模拡大したいと考えている農地の面積を記入してください。

		(ha)(町)	(a)(反)	(a)(畝)
今後5年の規模拡大希望面積	994			

注：該当がない場合は空欄としてください。

5　今後5年以内の、農業経営の意向について、次のうち該当する番号を記入してください。

1：規模拡大
2：現状維持
3：規模縮小（離農を含む）

今後5年の農業経営意向	995

注：（規模拡大の例）
・農地の拡大
・動力田植機、トラクター、コンバイン等の機械への投資
・ハウス・ガラス室等の施設への投資

SAMPLE